

生物学的同等性試験

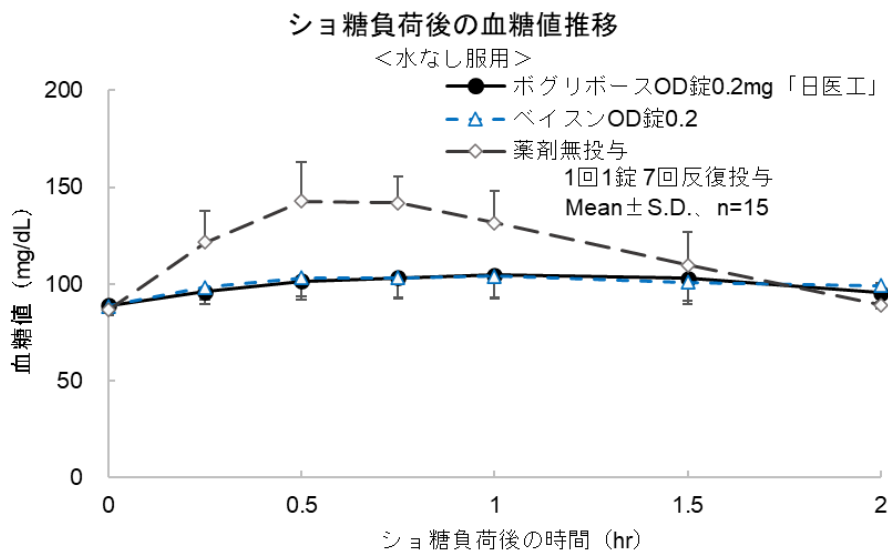
ボグリボース OD錠 0.2mg「日医工」

シヨ糖負荷に対する血糖値推移による薬力学的効果を検討し、統計解析を行った。

健康成人男子にボグリボース OD錠 0.2mg「日医工」とベイスン OD錠 0.2 のそれぞれ 1回1錠（ボグリボースとして 0.2mg）を 7回反復経口投与（ボグリボースとして計 1.4mg）*あるいは無投与（3群3期クロスオーバー法）し、その 10分後にシヨ糖 75g 経口投与（シヨ糖負荷）を行い、血糖値を測定し、得られた薬物動態パラメータ（AUC, Cmax）について Tukey の多重比較にて統計解析を行った結果、ボグリボース OD錠 0.2mg「日医工」とベイスン OD錠 0.2 の生物学的同等性が確認された。

※：1日目の朝食，昼食，夕食，2日目の朝食，昼食，夕食の各食事 10分前に，ボグリボース OD錠 0.2mg「日医工」又はベイスン OD錠 0.2 のいずれかを 1回1錠経口投与した。3日目の朝（12時間以上の絶食後）に薬剤を経口投与した。

<水なし服用>

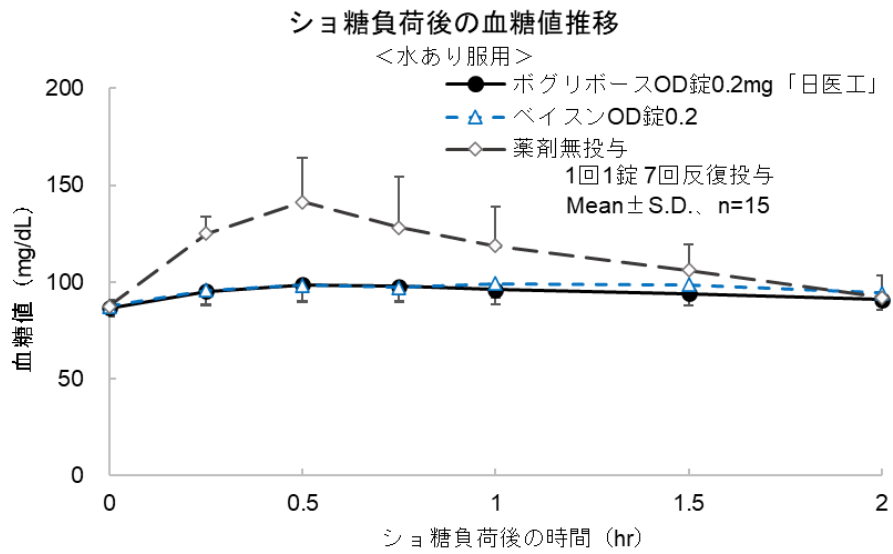


[薬物動態パラメータ]

	Cmax-g (mg/dL)	AUCt-g (mg·hr/dL)	Tmax-g (hr)
ボグリボース OD錠 0.2mg「日医工」	112±14	200.8±17.0	0.93±0.51
ベイスン OD錠 0.2	112±9	201.5±11.9	1.07±0.52
無投与	152±14	238.9±20.3	0.67±0.22

(1回1錠7回反復投与, Mean±S.D., n=15)

<水あり服用>



[薬物動態パラメータ]

	Cmax-g (mg/dL)	AUCt-g (mg·hr/dL)	Tmax-g (hr)
ボグリボース OD 錠 0.2mg「日医工」	102±6	189.5±9.7	0.87±0.52
ベイスン OD 錠 0.2	104±5	193.8±9.3	0.87±0.44
無投与	144±20	230.1±20.8	0.47±0.16

(1回1錠 7回反復投与, Mean±S.D., n=15)

血糖値並びに AUC, Cmax 等のパラメーターは, 被験者の選択, 体液の採取回数, 時間等の試験条件によって異なる可能性がある。